



Grandphalt ART

施工性改善型 ポリマー改質アスファルトⅡ型

グランファルト ART

独自技術のポリマー分散制御処方を採用したプレミアムな施工性改善型ポリマー改質アスファルトⅡ型です。軟化材や発泡材は加えておらず、通常のポリマー改質アスファルトⅡ型と同じ使い方が可能です。

主な適用箇所

- ✓ 重交通道路の表層、基層
- ✓ 交差点
- ✓ 空港舗装など

製品性能と特長

✓ 優れた締固め特性

混合物の締固め温度が低下しても所定の密度が得られやすくなります。

このため、従来のポリマー改質アスファルトⅡ型に比べ、アスファルト混合物の配送エリアを拡大できます。

温度低下に伴うアスファルトのダマを30%削減することを確認しており、舗装の長寿命化に貢献します。

✓ 優れた塑性変形抵抗性

ストレータアスファルトに比べ、軟化点やタフネス・テナシティが高く、塑性変形抵抗性に優れます。

わだち掘れを抑制します。

✓ 優れた耐水性

舗装調査・試験法便覧に規定される水浸ホイールトラッキング試験の剥離面積率の代表値は0%であり、耐水性に優れます。

✓ 優れた貯蔵安定性

専用のアスファルトと厳選した添加剤配合技術により、アスファルトとポリマーが分離しにくく、安定した混合物性能を発揮します。

品質レベル

- ✓ 日本改質アスファルト協会 (JMAAS-01) ポリマー改質アスファルトⅡ型
- ✓ 日本道路協会 舗装設計施工指針 (平成18年度版) ポリマー改質アスファルトⅡ型

一般性状^{*1}

項目	単位	グランファルト ART	標準的性状 ^{*2}
軟化点	℃	57.5	56.0 以上
伸度 (15℃)	cm	100+	30 以上
タフネス (25℃)	N・m	26.5	8.0 以上
テナシティ (25℃)	N・m	20.7	4.0 以上
針入度 (25℃)	1/10 mm	49	40 以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.01	0.6 以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	75.5	65 以上
引火点	℃	354	260 以上
密度 (15℃)	g/cm ³	1.037	試験表に付記
推奨混合温度 ^{*3}	℃	170～180	試験表に付記
推奨締固め温度 ^{*3}	℃	160～170	試験表に付記

*1 一般性状は製造時の許容差異を含んだ代表値です。製品の改善のため、予告なく変更する場合があります。

*2 日本道路協会 舗装設計施工指針(平成 18 年度) ポリマー改質アスファルトⅡ型の標準的性状です。

*3 室内供試体作成時の温度範囲です。混合所や施工時の温度は室内推奨温度範囲よりも広く設定が可能です。

販売荷姿：アスファルトローリー

使用上の留意点

ご使用にあたっては、事前に安全データシートを（SDS）をご覧ください。

取扱上の注意	貯蔵温度は 180℃以下とし、貯蔵期間は 1 週間を超えないように注意してください。 貯蔵や溶融時にヒーターやバーナー等による局部加熱を受けるとアスファルトバインダーが変質する恐れがあります。
安全上の注意	溶融したアスファルトに触れるとやけどを負う恐れがあります。作業時は作業着、保護面、保護眼鏡、保護手袋、その他 保護具を着用してください。溶融したアスファルトの蒸気を吸引すると気分が悪くなる恐れがあります。室内でアスファルトを加熱する場合はマスク等を着用し、換気を行ってください。溶融したアスファルトに水を近づけないでください。溶融したアスファルトが飛び散り、やけどを負う可能性があります。溶融したアスファルトは引火する可能性があります。着火源を近づけず、万が一着火した場合、粉末または炭酸ガス消火器を使用してください。

本資料は事業者様向けに作成されたものです。本資料に掲載された技術情報は弊社で確認した代表的動作を説明するものです。

お問い合わせ

出光興産株式会社 先進マテリアルカンパニー 機能舗装材事業部

アスファルト販売課（東日本） 03-6870-6587

アスファルト販売課（西日本） 06-7711-1271

受付時間 9:00～17:30

土・日・祝祭日、12 月 29 日～1 月 3 日、5 月 1 日、6 月 20 日（当日が日曜日の場合は翌営業日が振替休業日）を除く